

つちだわ か こ
車椅子アスリート 土田和歌子 選手
パラリンピック北京大会の選考対象レース
「第 27 回 大分国際車いすマラソン大会」で優勝
北京へ一歩前進

総合人材サービス企業の株式会社ヒューマントラスト(本社:東京都千代田区、代表取締役 阪本美貴子)の社員で、アテネパラリンピック金メダリストである土田和歌子選手は 10/28(日)、大分市で行なわれた「第 27 回 大分国際車いすマラソン大会」に出場し、優勝しました。パラリンピック北京大会の選考対象となる 1 時間 39 分を上回るタイムを記録し、北京へ一歩前進しました。

【土田和歌子選手 (株)ヒューマントラスト) 競技結果】

フルマラソン(42.195km) 女子 1 位 1 時間 38 分 55 秒

終始、女子では 1 位をキープし続け、39Km 地点で男性選手とともにスピードアップを図り、抜け出しました。その後、追いついてきた男子選手数人とラストで接戦となりましたが、女子の 2 位に 30 秒の差をつけ、1 位でゴールしました。

【土田和歌子選手 コメント】

「選考対象となるタイムを意識し、レースに挑みました。コンディションも良く、序盤から良いペースでレースを行うことができ、今の時点で 1 時間 39 分を切れたことは、今後の自信につながりました。」

【パラリンピック北京大会* の選考について】 * 開催 2008 年 9 月 6 日(土)~9 月 17 日(水)

日本身体障害者陸上競技連盟が、パラリンピック北京大会の派遣元である日本パラリンピック委員会(JPC)へ選手を推薦し、JPC が最終決定します。

フルマラソンの推薦は、第 27 回大分国際車いすマラソン大会を指定大会とし、女子 T54 グループ(土田選手該当グループ)は 1 時間 39 分 00 秒以内でフィニッシュした選手のうち、上位選手から推薦対象となります。(ただし、各国の人数割当てにより、制限タイムを突破しても推薦の対象とならない場合もある。)

【土田和歌子選手 (ヒューマントラスト) プロフィール】

1974 年 10 月 15 日 東京都生まれ
高校 2 年の時、友人とドライブ中に事故に遭い、車いす生活に。

1993 年アイススレッジの講習会に参加したことがきっかけで、日本で最初にアイススレッジスピードスケートを始める。

長野パラリンピックでは 1500 メートルで自身の世界新記録を更新し金メダルを獲得。1000 メートルでも金メダル、100 メートル、500 メートルでは銀メダルを獲得した。

一方、陸上競技にも挑戦し 2000 年シドニーパラリンピック車いすマラソンで銅メダルを獲得。
2004 年アテネパラリンピックでは、5000m で念願の金メダル、フルマラソンでは銀メダルを獲得。日本人初の夏冬「金メダリスト」となった。

東京都教育庁、セイコ・ハシモトインターナショナルコーポレーションを経て、06 年 11 月、(株)ヒューマントラストに入社。結婚出産のため 06 年 1 月から 10 月まで一旦、競技生活から離れていましたが、11 月に産後 3 カ月でトレーニングを開始。2004 年アテネパラリンピックであと一歩のところまで達成出来なかった、5000m とマラソン 2 種目で金メダル獲得を目指し、2008 年の北京へ向け挑戦を続けています。

【復帰後の実績】

- 2007年4月16日 第111回 ポストンマラソン(米国)
車いすの部 女子 1位 1時間53分30秒
[日本人女性初の優勝][パラリンピック北京大会 標準記録(2時間10分)突破]
- 2007年5月27日 第18回 日本身体障害者陸上競技選手権大会(大阪)
5000m (女子) 1位 12分27秒16
[パラリンピック北京大会 標準記録(14分00秒)突破]
1500m (女子) 2位 3分34秒54 [日本記録更新]
- 2007年6月17日 2007 はまなす全国車いすマラソン大会(札幌)
フルマラソン女子 1位 1時間56分39秒
[パラリンピック北京大会 標準記録(2時間10分)突破]
- 2007年7月1日 第12回 関東身体障害者陸上競技選手権大会(東京)
5000m (女子) 1位 12分32秒
[パラリンピック北京大会 標準記録(14分00秒)突破]
1500m (女子) 1位 3分41秒62 [大会新記録]
- 2007年9月1日 第11回 IAAF 世界陸上競技選手権大阪大会(大阪)
1500m (女子) 5位 3分39秒31
- 2007年9月30日 第19回全国車いすマラソン大会(兵庫)
ハーフマラソン(21.0975km) 女子 1位 総合 3位 51分45秒



株式会社ヒューマントラストについて

1995年2月の設立以来、人材派遣、人材紹介、アウトソーシング、人事コンサルティングと順次事業を拡大、売り上げも順調に推移し、現在全国23拠点(2007年3月現在)でサービスを展開しています。従来、総合人材サービス企業として多様なニーズに合わせた人材活用を提案してまいりましたが、障害者の雇用促進を目的に、2007年3月、ヒューマントラストフロンティアを設立しました。土田選手は、同社の設立準備段階である2006年11月にヒューマントラストに入社し、まず当面は北京パラリンピックに向けた練習を活動の中心としています。そしてパラリンピック以降、本格的に障害者雇用促進プロジェクトの推進役として、自身の経験を活かしながら、「夢」、「家庭」、「就労」を両立させるような仕組みづくり、環境づくりに参画する予定です。

報道関係の方からのお問い合わせ先